

現場重視の審査。 ISAさんの代名詞かもね。

株式会社テクノタジマ様は、約80名で鋼材の販売や加工をされておられ、お客様の要望に徹底した品質とスピードで対応されておられる、優良企業様です。

**3つの目的で進めたISO。
社内活性化がキー**

当社は、同業者さんがISO認証されているので、同じ環境下でやっていくには取る必要があるだろうという点、そして、弊社のユーザーからISOを取られた方がよいですねということを言われた点、最後に、社内の仕事を見える化すると共に、社内を活性化しようというのと、人材育成にもつながるかなという、3つの目的でISOの認証をしました。

最初の目的ですけど、やっぱり同業者さんに出遅れちゃいかんなというのがうちのトップからの話でもありましてね。市場を捉えてもそういう動きは必要だろうということになりました。

それから次の点ですけど、お客様からの要望という点です。

実務重視の審査をしてもらえたんですね。

実は、うちの担当とISAさんのある方が昔の同僚、昔同じ職場の仲間だったみたいで。ISAさんとの出会いのきっかけはそういう接点でした。

だからということもないのですけど、いろいろ相談をしたり、話をきいたりは多くなりました。最終的にはそういう点もあり、お願いをすることになりました。

正直申し上げて新規認証になるもんですから、審査機関をほかとは比較はできないんですけど、実際、うちのために親身にやっていただいているなあと思います。

一番ポイントなのがやっぱり実際に書面をみて現場に足を運んでいただいて、見ていただくという点ですね。これが非常にありがたいなと思ってます。**現地現物をそのままで行く審査をしてくれているんですよ。**

あと、これは蛇足かもしれませんが、地元にあるという意味では親しみが湧くというのもありますね。拠点が近いですから同じ名古屋ですから、何かあったときでも足を運べますし。蛇足といいながらも、実際それはうちにとってはありがたかったのかもしれないなと思ってます。

やはり中小ですと、ISOのコストって正直高いなあと思つています。しかしそう考えているとその先はないですからね。結果的には審査の費用っていうのは教育の費用であつたり、あとは自社の経

当社はおかげさまで優良なお客様が多いんですけど、ISOを取られてるお客さんが多いんですよ。そういうこと考えると我が社も必要なのかなと。

そして最後は、職場の風土とか、いろんなポジションいろんな事業がありますので、それが見える化できたらいよいよねということ。進めていくと、人材育成のツールとしても活用できるということですかね。

最終的には、この点を強くしていき、新しいユーザーとか新しい分野に対して、ひとつの看板や切り口として使っていきたいと思っています。

現地現物の審査、それがISAさんにはありました。

審査では、社内では見えない部分に対して、**第三者的な目線でいろんな問題点とかいうのを本音で指導してもらいたい**と思つています。

それに、書面だけじゃなくて現地現物、実際に現場を見て現場の人間に触れて審査していただく、

費削減とかいろんなメリットがあつたりに繋がっているんで、簡単に評価しづらいいけないと思ひます。

こう考えるのには少し時間は掛かりましたけどね(笑)そう言いながらも、安い方が良いので、この点をISAの窓口の方に実際に相談したところ、当社は審査も他社よりよいけど、価格も安いよと。それはほかに見積もりをとってみてもらつたらすぐにわかります。こうはつきり言われたんですよ(苦笑)

そこまで強く自信をもつて言われたら、もう他社に見積もりとらなくてもよいかなとも思ひましたね(笑)

まあそもそも、我々は最初の3つの目的のためにISOを進めているというのがありましたから、価格で選ぶというよりも、まずは決められたゴールに向けて動くというのを優先したいので、よい審査であることを前提で、次に価格もという優先で選びましたよ。安からう悪からうな審査機関では当社の方向性と違つてきますからね。

相手の立場に立った指導。なかなかできないですよ。

ISAさんの審査の感想で言うと、現地現物つてのがやっぱり一番の印象なんですけど、そのほか

に感じたのは、やっぱり相手の立場になつてものを言つてくれているつていう点ですね。

他社さんとか同業さんから聞いている範囲では、とても高圧的な審査員の方がいらつしやったり、細かいどうでもよいような話ばかりする審査員がいらつしやったりつていうのをあきれるくらいききましたよ。まあ、そういう中でこういう審査はなかなかしてもらえないだろうなとは思ひますよ。

それから、うちはISOの審査以外に、お客様の監査も結構あるんですよ。品質の監査。だいたい年1回のところもあれば3年に1回のところもあります。今も、数社品質監査を受けてますね。そこへの効果つていうのもあります。ユーザーからの品質監査を受ける際に、現場重視の審査を経験していたら、スムーズに監査を受けられます。まあ、考えると、こういうことも、メリットとしてあるなと感じました。

よい審査に触れるのは、社員にとって重要だよ。

営業窓口の人間は、ユーザーさんとの接点が多いもんですから、ISOは正直、体裁上で欲しいなと感じることは多いですよ。ただそれに加えて、いかに第一線で働いている社員にISOの重要性や、会社でやろうとしていることを浸透させられるかつていうのがやっぱり難しいし重要かなと。

株式会社テクノタジマ

×ISA

Profile

称号 株式会社テクノタジマ
本社所在地 名古屋市中区豊2-12-1
従業員数 約80人
事業内容 鋼材及び同製品の販売、
独自加工品の製造販売、
新製品、新事業の企画開発

そう、よい審査に触れるのは、社員にとっても重要なんですよ。

だからISOつてとつたら終わりじゃない。その辺が結構中小企業のみなさんに聞くと、悩まれているかな。実際その辺は、オーナーさんのやる気も大きいと思ひます。オーナーさんが、もうこんな金かけてもしようがないと思つたらそこまでですね。だから認証した後も、どう社内へ意識づけさせるかみたいなことは考えておかないといけない。そういう意味で、審査で現場を回つてやつてくれるというのは意識させることになる、助かります。